

名家連ニュース

平成 25 年 10 月 7 日 (月)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀場洋二
TEL/FAX(052)411-2890 NO.271号

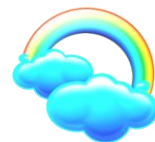


「親が元気なうちに」PartⅢ ～家族が願う 家族支援～

心の健康を願う市民と家族の集い



晴ときどき虹



参加者は 281 名。オープニングでは、当事者の皆さんがコーラやダイスを披露してくれました。佐藤先生は、京都の家族会調査に基づき「無支援状態にある家族の実態」と「親が生きているうちに考える問題」そして「パ・ミガム」の家族支援プログラム」の紹介と日本に導入する意義について 90 分講演しました。佐藤先生の講演から、漠然とした「親亡き後の不安」を募らせるのではなく、「親が元気なうちに支援者に繋ぐ」「支援を受けることになれる」ことを学びました。



後半は、青木先生のコーディネートで、今年 3 月、佐藤先生に同行してパ・ミガムを視察した「愛家連木全会長」をゲストに迎え「家族が願う家族支援」の内容を深めて頂きました。



今回の企画は『～親が元気なうちに～シリーズ PartⅢ (Part I 「ライフサポート」、Part II 「当事者から学ぶ」)』と位置付けて計画してきました。次回 PartⅣは、11 月 27 日に「岡山県家連の実践的な地域生活支援に学ぶ」計画が確定しています。

本年の名家連総会事業計画は、5 年ぶりに「家族の生活実態調査」を行うことを決めました。9 月 21 日の家族会交流会で配布した調査項目を 10 月、11 月の役員会で検討し、11 月の家族会代表者会議へ素案を提出する予定です。

●家族交流事業「晴ときどき虹」は、名古屋市の事業でしたが、今年から名家連が、名古屋市事業の委託を受けて運営することになりました。今回の準備過程においては、健康福祉局障害企画課に大変お世話になり感謝しています。事前の問合わせも、家族・当事者以外に、専門職、行政職、学生の皆さんから多数お寄せ頂きました。

【当日、参加者から寄せられた感想の一部を紹介します】

- 佐藤先生の話し方は、とてもソフトで、内容も解りやすかったという声
- 50 分という時間であれだけのことができる…「さすが青木先生！」という感嘆の声

